

立教大学 ESD 研究センター
ESD 政策重要文献 シリーズ
R-SEA-1

ASEAN 環境教育アクションプラン (AEEAP) 2008-2012:

持続可能な開発のための環境教育

監訳：野村 康／阿部 治
(立教大学 ESD 研究センター)

ESD政策重要文献シリーズ

ESD R C



Education for Sustainable Development Research Center
Rikkyo University

**ASEAN 環境教育アクションプラン (AEEAP)
2008-2012:**

持続可能な開発のための環境教育



東南アジア諸国連合（ASEAN）は、1967年8月8日に設立されました。当連合の加盟国は、ブルネイ・ダルサラーム国、カンボジア、インドネシア、ラオス人民民主共和国、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナムです。ASEAN事務局は、インドネシアのジャカルタに設置されています。

お問い合わせ、連絡は下記までお願いいたします。

Public Affairs Office
The ASEAN Secretariat
70A, Jalan Sisingamangaraja
Jakarta 12110
Indonesia
電話: (62.21)724.33.72, 726.29.91
FAX: (62.21) 739.82.34, 724.35.04
Eメール: public@asean.org

ASEANに関する一般情報は、下記ASEANホームページにてご覧いただけます。
www.asean.org

ASEAN ENVIRONMENTAL EDUCATION ACTION PLAN (AEEAP)
2008-2012: ENVIRONMENTAL EDUCATION FOR SUSTAINABLE
DEVELOPMENT

Jakarta: ASEAN Secretariat, January 2008
Vi, 83p, 14.8 x 21 cm

333.707

1. Environmental education – ASEAN
2. ASEAN-Action Plan

ISBN 978-979-3496-58-0

Printed in Indonesia

当出版物の文面は、適切な承認を受けることにより、自由に引用及び転載することが可能です。

Copyright ASEAN Secretariat 2008.
All rights reserved.

**ASEAN 環境教育アクションプラン (AEEAP)
2008-2012:**

持続可能な開発のための環境教育



序文

「持続可能な開発のための環境教育」というテーマの下、ここに ASEAN 環境教育アクションプラン(AEEAP)2008-2012 を発表できて嬉しく思います。本テーマは、2007 年 9 月 6 日、ASEAN 環境閣僚会議によって承認されました。本アクションプランは、AEEP2000-2005 を継承しており、引き続き ASEAN 地域の環境教育イニシアティブを発展・遂行するための地域協調体制として機能することでしょう。

「ビジョン 2020」で構想されているように、ASEAN は地域のクリーンで緑豊かな環境を目指しています。AEEP2008-2012 は、持続可能な開発のための環境管理への人々の意識を高めるため、枠組みを策定し、このビジョンに貢献します。また、地域における持続可能な開発を達成するために必要な要素である、環境教育の発展と向上に寄与します。本プランの戦略的方向性は、4 つのターゲットエリアであるフォーマル教育、ノンフォーマル教育、人的資源能力開発、ネットワーク・協働・コミュニケーション、によって明確に表されています。また、当アクションプランは、ASEAN 加盟国の能力の向上を介して、環境教育を実施する上での国家的及び国際的イニシアティブと連携し、これを推進するメカニズムと手法を有します。

AEEAP 2008-2012 はまた、国連持続可能な開発のための教育の 10 年 (UN DESD 2005-2014) の推進に ASEAN として貢献します。私たちは当アクションプランが、ASEAN を越えた地域・国際パートナーに参考文献として利用され、ASEAN と共に連携して地域の環境教育を促進する事を願います。

究極的には、環境とはそこで生活する人々によって守られるものです。AEEAP 2008-2012 は、この活動に対して人々がより高い意識と責任を持つようになる事を熱望しています。

最後に、このアクションプランの作成に関わった全ての人に祝辞を述べたいと思います。また、今回全ての事を可能にしてくれた国連環境計画、ハンス・サイデル財団、国連大学高等研究所、国際連合教育科学文化機関 (ユネスコ) に心からお礼申し上げます。

オン・ケンヨン
ASEAN 事務総長

謝辞

今回の出版作成にあたり、環境教育に関する貴重な意見を提供し、サポートをしてくださった ASEAN 加盟国と各国フォーカルポイントの皆さんに、ASEAN 事務局より感謝の意を表明したいと思います。

当アクションプランは、広範囲にわたる集中的な協議、インタビュー、調査を通して作成されました。2006 年 7 月 11 日～13 日に、ミャンマーのヤンゴンにて開催された「持続可能な開発のための教育会議：ASEAN アクションプラン（2008–2012）の策定」においては、主要関係者が集まり、収集された情報を見直し、当プランの基礎となる戦略的アクション構想を作成しました。このプランの作成に従事して下さった会議の参加者や関係組織、コンサルタントの皆さんに、事務局よりお礼申し上げたいと思います。

また、当プランの作成にあたり、財政的、技術的支援を与えてくれたハンス・サイデル財団、国連環境計画、国連大学高等研究所、国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）に心よりお礼を申し上げます。

当プランは、ASEAN 事務局の環境災害管理ユニットの指揮調整のもと作成されました。

目次

序文.....	i
謝辞	iii
目次	iv
頭文字・略語	vi
はじめに	1
プランの策定	5
データ収集	5
関係者による提案	6
プラン	9
使命	9
目的	9
ターゲットエリアと目標	10
成果	11
戦略的アプローチ	12
中心的価値	13
オーナーシップ	13
協調的パートナーシップ	14
地域・国際イニシアティブとのつながり	14
戦略的アクション	15
戦略的アクションの概観.....	15
実施メカニズム	19
ASEAN における環境教育主導国	20
各国の環境教育フォーカルポイント	20
ASEAN 環境教育作業部会	21
推進組織	22
資源動員のためのパートナー	22

追加メカニズム	23
モニタリングとアセスメント	23
基準と指標	24
報告枠組み	24
ANNEX： 戦略的アクション構想	27
ターゲットエリア1：フォーマル教育	28
ターゲットエリア2：ノンフォーマル教育	37
ターゲットエリア3：人的資源能力開発	50
ターゲットエリア4：ネットワーク／協働／コミュニケーション	60

頭文字・略語

ACCU	Asia Pacific Cultural Centre for UNESCO (ユネスコアジア文化センター)
ADB	Asia Development Bank (アジア開発銀行)
AEEAP	ASEAN Environmental Education Action Plan (ASEAN 環境教育アクションプラン)
AEEID	ASEAN Environmental Education Inventory Database (ASEAN 環境教育インベントリー・データベース)
AIBD	Asia-Pacific Institute for Broadcasting Development (アジア太平洋放送開発機構)
AIESC	ASEAN Initiative on Environmentally Sustainable Cities (環境的に持続可能な都市に関する ASEAN イニシアティブ)
AMME	ASEAN Ministerial Meeting on the Environment (ASEAN 環境大臣会合)
APCEIU	Asia-Pacific Centre of Education for International Understanding—UNESCO (ユネスコ・アジア太平洋国際理解教育センター)
APFEJ	Asia Pacific Forum of Environmental Journalists (アジア・太平洋環境ジャーナリストフォーラム)
ASEAN	Association of Southeast Asian Nations (東南アジア諸国連合)
ASEP	ASEAN Sub-regional Environment Programme (ASEAN サブリージョナル・環境プログラム)
ASAIHL	Association of Southeast Asian Institutions of Higher Learning (東南アジア高等教育機構連合)
ASOEN	ASEAN Senior Officials on the Environment (ASEAN 環境高級事務レベル会議)
ASPnet	Associate Schools Project Network – UNESCO (ユネスコ協同学校プロジェクトネットワーク)
AUN	ASEAN University Network (ASEAN 大学ネットワーク)
AWGESC	ASEAN Working Group on Environmentally Sustainable Cities (アセアン環境的に持続可能な都市に関する作業部会)
COCI	ASEAN Committee on Culture and Information (ASEAN 情報文化委員会)
DESD	Decade of Education for Sustainable Development (持続可能な開発のための教育の10年)
EE	Environmental Education (環境教育)
ESD	Education for Sustainable Development (持続可能な開発のための教育)
GRI	Global Reporting Initiative (グローバル・リポーティング・イニシアティブ)
HSSFJ	Hanns Seidel Foundation – Jakarta (ハンス・サイデル財団—ジャカルタ)
IBE	International Bureau of Education (ユネスコ国際教育局)

ICT	Information & Communication Technology	(情報通信技術)
IEC	Information, Education and Communication	(情報、教育とコミュニケーション)
IO	International Organisation	(国際組織)
ISO	International Standards Organisation	(国際標準化機構)
IUCN	The World Conservation Union	(国際自然保護連合)
JICA	Japan International Cooperation Agency	(独立行政法人国際協力機構)
MENGO	Malaysia Environmental NGOs Network	(マレーシア環境 NGO ネットワーク)
NEA	National Environment Agency—Singapore	(シンガポール環境庁)
NETTLAP	Network for Environmental Training at Tertiary Level in Asia and the Pacific, UNEP-ROAP	(アジア太平洋高等教育環境訓練ネットワーク)
NGO	No-governmental Organisation	(非政府組織)
RCE	Regional Centre of Expertise for ESD/UNU-IAS	(持続可能な開発のための教育に関する地域の拠点/国連大学高等研究所)
ROAP	Regional Office for Asia and the Pacific of UNEP	(国連環境計画アジア太平洋地域事務所)
ROK	Republic of Korea	(大韓民国)
SEAMEO	Southeast Asian Ministers of Education Organisation	(東南アジア教育大臣機構)
TEMM	Tripartite Environmental Education Ministers Meeting—China, Japan, Republic of Korea	(日中韓三ヶ国環境大臣会合)
TEEN	Tripartite Environmental Education Network	(日中韓環境教育ネットワーク)
TEI	Thailand Environmental Institute	(タイ環境研究所)
TVE	Television Trust for the Environment – Asia	(環境テレビトラスト-アジア)
UNDP	United Nations Development Programme	(国連開発計画)
UNEP	United Nations Environment Programme	(国連環境計画)
UNESCO	United Nations Educational, Scientific and Cultural Organisation	(国際連合教育科学文化機関)
UNU/IAS	United Nations University/Institute of Advanced Studies	(国連大学高等研究所)
VAP	Vientiane Action Programme (2004-2010)	(ビエンチャン行動プログラム 2004–2010)

はじめに

環境教育は、フォーマル教育やノンフォーマル／インフォーマル教育を通して、人々が行動的かつ情報豊かな市民として、環境的に持続可能で公正な社会の構築に参加するための理解や技術、価値観を得るプロセスである、と定義されてきた。ずさんな環境管理の脅威、また環境軽視や環境悪化により生ずる損失は、環境教育によって明らかにされる。また、環境教育を通じて、優れた環境実践が、個人や組織、コミュニティのレベルにおいて繰り返し伝えられる。環境教育は、こうした知識と技術を活用し、現在と次世代の利益のために、持続可能な方法による環境の保全、保護、及び利用を行う事を目的としている。環境教育はまた、持続可能な開発のための教育（ESD）における主要な統合要素として、新技術の利用法や生産性の向上、環境災害の回避や貧困の緩和、持続可能な未来のための新たな機会の活用や賢明な判断の方法を含んでいる。更に、個人及び共同で既存の環境問題を解決し、新しい問題を防ぐための技術やモチベーション、責任の習得も環境教育の範疇となる。

ASEAN 環境教育アクションプラン（AEEAP）2000-2005 は、2000 年に ASEAN 環境閣僚会議によって採択され、2000 年から 2005 年にわたる全 ASEAN 加盟国での環境教育に関する協調的な行動の枠組みを規定した。目的は、加盟国内で環境教育を促進し、地域内の人々が環境配慮に十分注意するようになることである。AEEAP2000-2005 は、以下 4 つのターゲットエリアにおける 4 つの目標、12 の目的を達成することに重点を置いている。

(i) フォーマル教育

(ii) ノンフォーマル教育

(iii) 人的資源能力開発

(iv) ネットワーク・協働・コミュニケーション

すべての加盟国は、国家の取り組みの一端として、上記4つのターゲットエリアに関する活動に着手してきた。また、フォーマル教育、ノンフォーマル教育プログラムの普及を通して、環境意識の強化、促進を行ってきた。同時に加盟国は、ASEAN 環境教育インベントリー・データベース (AEEID) を介して、環境教育講座を提供し、加盟国内外との環境教育に関するネットワーク作りや協力、コミュニケーションを図る能力を養ってきた。

2005年8月、ASEAN 環境高級事務レベル会議は、近年の国際的傾向である国連持続可能な開発のための教育の十年 (UN DESD) を踏まえ、AEEAP 2000-2005 の後継プランの作成を提唱した。この後継プログラムの作成は、AEEAP 2000-2005 の更なる展開と強化を求めた、ビエンチャン行動プログラム 2004-2010 においても要請されている。そして、前アクションプランにおける4つのターゲットエリアの方策を対象に、コミュニケーション、ネットワーク構築、情報と体験の共有、能力開発の基本手段である ASEAN 環境教育インベントリー・データベース (AEEID) を推進している (ビエンチャン行動プログラム 2005-2012 : アネックス3、項目 3.3.3 (VAP 2004-2010:Annex3, Item No.3.3.3))。当アクションプランの作成は、AEEAP 2000-2005 の遂行期間末より一年以上に渡り、様々な関係者との広範囲かつ集中的な見直し、研究、協議過程を経て行われた。また作成中は、残された活動を完了し、経験や教訓を見直し検討する取り組みが行われた。当アクションプランは、2007年8月、ASEAN 環境高級事務レベル会議にて承認され、同年9月6日、タイ・バンコクにて開催された第10回非公式会議において、環境閣僚により採択された。

前アクションプランと同様に、AEEAP 2008-2012 は、ASEAN 地域における環境教育活動の発展と実施に関する協調的行動の枠組みとして機能する。また、ASEAN は、持続可能な方法で、環境全体の管理を高めることを目的とする。AEEAP 2008-2012 は、UN DESD、特にアジア太平洋 ESD 地域戦略に貢献するだろう。

諸国連合である ASEAN は、加盟国共通の利益のために、コンセンサスを基本として自発的に協同する。ASEAN には、多様に発展した社会経済、多様な人々、また多様な文化が存在する。AEEAP 2008-2012 は、こうした多様性をまとめて共通の戦略的方向性を規定し、豊かで調和した、環境的に持続可能な ASEAN コミュニティへの移行を推進するものである。

プランの策定

データ収集

AEEAP 2008-2012 を策定するにあたり、3 段階にわたって質的データが収集された。第 1 段階として、AEEAP 2000-2005 及びその中間審査報告（ASEAN 環境教育アクションプラン 2000-2005：中間審査報告議事録、2002 年）の分析とレビューが行われた。

第 2 段階では、10 加盟国の環境教育に関するあらゆる出版物や、ウェブ上の情報のレビューが行われた。

第 3 段階では、各国環境教育フォーカルポイントとその他主要関係者の意見と見通しを調査すべく、アンケートを作成した。これは、AEEAP 2000-2005 における 4 つの主要な側面に関する意見、見通し、データを収集し、後継プランである AEEAP2008-2012 で取り組むべき主な懸案課題を浮き彫りにするためである。4 つの主要な側面は以下の通りである。

- (i) AEEAP 2000-2005 における 12 の目的と 36 の規定行動について、効果的に実施されたか、あるいは遵守されたかの認識
- (ii) AEEAP 2000-2005 の強みと弱み、また国内の環境教育への全体的な影響
- (iii) 後継プランが取るべき役割と行動

- (iv) 地域内の環境教育の発展活動をサポートする民間部門の役割

文書による回答の補足として、各加盟国の環境教育、ESD に関する活動やイニシアティブに詳しい各国フォーカルポイント及び主要人物に、電話や対面式のインタビューを通して、議論を行った。

関係者による提案

調査に参加した関係者は、AEEAP 2000-2005 が、環境教育に関する多国籍間対話／協定の重要な地域イニシアティブとなり、環境教育発展に向けた有益なガイド及び基準を提供していると強調した。他にも、AEEAP 2008-2012 が、地域の優先ニーズに取り組むべきであり、特に国内、地域内で実施される活動の種類について、前アクションプランよりも更に現実的になるべきだという多くの回答が寄せられた。国・地域レベルにおける既知の課題と制約の中、5 年間にわたるアクションプランの活動が、現実的で達成し得るものとなることは同様に重要である。その他、AEEAP 2008-2012 で組み込まれるべきである主要課題として、下記が提案された。

- (i) あらゆるレベルにおける主要関係者のトレーニングと能力開発
- (ii) 地域内及び国際的な、専門的知識と経験の共有
- (iii) 環境教育に関する情報・資料・最良事例や、ワークショップやトレーニングに関する情報の効果的普及
- (iv) 加盟国が行う、ESD を取り入れた地域に関連する環境教育カリキュラム・資料・情報の作成の支援
- (v) 民間部門による環境教育や ESD への取り組みへの、国・地域レベルでの協力

2006年7月11日から13日にかけて、「持続可能な開発のための教育会議：ASEAN アクションプラン（2008–2012）の策定」がミャンマーのヤンゴンにて開催された。そして、参加者により、後継アクションプランは、前アクションプランを構成した4つのターゲットエリアに下記の修正を加えて、維持することが提案された。

- (i) フォーマル・セクター
- (ii) ノンフォーマル・セクター
- (iii) 人的資源能力開発
- (iv) ネットワーク／協働／コミュニケーション

当会議の参加者は、主に環境または教育閣僚を含む各国環境教育フォーカルポイント、関係する ASEAN 組織の代表、国連環境計画アジア太平洋地域事務所、ユネスコ、国連大学高等研究所、ASEAN プラス 3 諸国であり、当アクションプランの基礎を成す戦略的アクション構想の策定に協力した。

プラン

AEEAP 2008-2012 は、ASEAN 加盟国が、持続可能な開発のための環境教育を促進し、発展させるためのガイドとなっている。当アクションプランは、ASEAN において環境教育が更に発展するよう、明確な戦略的計画の枠組みを規定すると同時に、加盟国での持続可能な環境管理と総合的な持続可能性に貢献している。このように、当アクションプランは、「**持続可能な開発のための環境教育**」をテーマとしている。ここで、環境教育が ESD 戦略全般において鍵となることを示すことは重要である。なぜなら、人類の自然への価値と理解、自然資源の持続可能な利用と管理は、持続可能な経済、調和した社会、健全な人々の基盤となるからだ。加盟国の活動における能力の向上と環境教育の発展は、アジア太平洋地域の持続可能な開発のための教育戦略に直接資することだろう。

使命

加盟国は、環境教育と市民参加を通して、市民が環境に関する知識と環境倫理を持ち、地域内の持続可能な発展を進んで実現する能力を備える、伝統文化（人々の価値と慣行が自然のリズムと調和に一致している）に富んだ、クリーンで緑豊かな ASEAN を構想する。

目的

AEEAP 2008-2012 は、持続可能な開発のための環境管理意識を向上させる効果的な枠組み

となる。また、「国連持続可能な開発のための教育の十年」と共に、加盟国における持続可能な開発を実現するための、主要な統合要素となる環境教育を発展させることを目的とする。

ターゲットエリアと目標

AEEAP 2008-2012 の全体的な方向性は以下のように、4つのターゲットエリアとそれぞれが持つ目標で構成されている。

ターゲットエリア 1：フォーマル・セクター

目標：

- 1.1 環境教育が各加盟国において、フォーマル・セクターの全てのレベルに（国の能力と指針に沿って）組み込まれる。
- 1.2 活発で継続的な調査を通じて、環境教育を推進する。

ターゲットエリア 2：ノンフォーマル・セクター

目標：

- 2.1 環境教育に関する文化的・伝統的・現代的な知識の統合を通じて、加盟国のノンフォーマル・セクターを強化し、地方・地域・国際的な環境問題に対処する。

ターゲットエリア 3：人的資源開発

目標：

- 3.1 加盟国の環境教育及びESDに関する人材層を育成する。

ターゲットエリア 4：ネットワーク・協働・コミュニケーション

目標：

- 4.1 地域内の環境情報、技術、資源（resources）の交流方法を改善する
- 4.2 地方／国・地域・国際レベルでのフォーマル、ノンフォーマルネットワークを介して、環境教育及びトレーニングへのサポートを拡大する。

成果

AEEAP 2008-2012 の実施を通して期待される最終的な成果は、環境的・社会的・経済的持続可能性の原則を基礎とした社会を築くための、強い連繋と協調の精神を備えた地域となることである。

詳細な成果は以下の通りである。

- (i) 各加盟国のフォーマル教育において、環境教育の導入と統合が進展する。
- (ii) ASEAN 地域内の大学や研究機関の強力な参画により、加盟国の環境教育、ESD に関する革新的で多様な研究が拡充する。
- (iii) 学校が、各コミュニティにおける持続可能な環境管理の重要モデルとなる。
- (iv) 地域の持続可能な開発を実現するため、国や地域レベルの環境教育イニシアティブや環境プログラムに対する、民間部門による支援と参画が強化される。
- (v) 能力開発とリーダーシップを通して、ASEAN における環境教育実践者とその他関係者の専門性が高められる。
- (vi) 加盟国において、市民社会が国や地域レベルで、環境教育の発展に効果的に携わる。

- (vii) 情報通信技術基盤、国・地域のネットワーク構築と強化を介して、知識・技能・経験・専門性・最良事例などの、効果的且つ継続的な地域交流が行われる。
- (viii) 全加盟国における青少年が、それぞれの社会や国において、持続可能な開発のためのリーダー的役割を担うための能力と機会が高まる。
- (ix) 地域の政策と同時に政策決定者によって、持続可能な開発を実現するために環境教育が重要であるという理解が高められる。またその結果、地方／国・地域レベルでの環境教育イニシアティブ及びプログラムへの強い支援が行われる。
- (x) ASEAN 地域の持続可能な開発を進展するため、全てのセクター間の多様なレベルにおいて、環境教育を支援し活用するような、協調的パートナーシップとネットワークが促進される。
- (xi) 地域レベル、また各加盟国において、環境教育と ESD の効果的なモニタリング、アセスメント、報告メカニズムが設置される。
- (xii) AEEAP 2008-2012 が、UN DESD アジア太平洋戦略とその他関連する地域、国際的イニシアティブにおいて、効果的な役割を果たす。

戦略的アプローチ

前アクションプランと同様、AEEAP 2008-2012 は、地域内 ESD の主要な統合要素である環境教育の発展に共通の戦略的方向性を規定し、加盟国の能力を高める。

このアプローチの成功には、地域関係者によるアクションプランへの強いオーナーシップの形成、協調的パートナーシップの確立、そして民間部門と市民社会両者の参加が必要となる。

中心的価値

加盟国とパートナーは、AEEAP 2008-2012 の目標と戦略的アクションを達成するための行動をとる上で、以下の中心的価値、原則、実践を支持する。

ASEAN 地域の文化

- 個人や組織の多様性を反映し、支援する。
- 多様な考え方を反映する。
- 環境教育や ESD 分野の関係者、またその他の人々の間に、公正で開かれた交流を奨励する。
- 地域内の多様な文化や宗教を反映し、支援・尊重する。

AEEAP 2008-2012 基本原則

- 開かれた透明性のある統治と意思決定構造をモデルとする。
- 加盟国、ASEAN 事務局、AEEAP 実施パートナーの組織能力、財政能力の範囲において運営する。
- 高水準を維持する。
- 計画管理に進歩的な組織開発モデル (progressive organizational development model) を使用する。
- 環境への責務と持続可能な慣行をモデルとする。

AEEAP 実践基準 (AEEAP standards of practice)

- 高い専門的な基準をサポートする。
- ネットワーク作り、情報や経験、最良実例の交流を奨励する。
- 実践例を伝えるような調査を拡充する。
- 協調的で敬意あるパートナーシップを形成し、リーダーシップを共有する。
- 環境リテラシーを地方、国、地域で促進させる。

オーナーシップ

アクションプランを成功させる上で、オーナーシップ問題は非常に重要である。AEEAP 2008-2012 は、地域における環境教育発展のための青写真となるが、根本的には、各加盟国にとっての青写真ともなる。なぜなら加盟国自身が、記述されている行動を決定し、またそれを実行する能力を有しているからである。そのため、アクションプランに記述され

ている戦略的アクションと活動は、「戦略的アクションまたは活動が ASEAN 事務局、もしくは他の地域団体や機関との共同オーナーシップ・活動を必要とする場合」または「ASEAN 事務局、その他の地域団体や機関によって、戦略的アクションまたは活動が地域レベルで実施される場合」を除いては、主に実行する加盟国の責任となる。

協調的パートナーシップ

アクションプランの成功はまた、国や地域レベルでの効果的な協調的パートナーシップによって決定される。こうしたパートナーシップは、ASEAN 事務局のサポートを得て加盟国により推し進められる。加盟国において、多様な戦略的アクションに関する推進組織は、必ずしも環境省やそれと同等機関に限られる必要はない。活動推進者は、民間部門、市民社会（例えば、非政府組織（NGO））、もしくは国際団体、国際機関から生まれるかもしれない。

アクションプランが全加盟国によって共同作成されていることから、加盟国間、ASEAN 事務局と加盟国間、あるいは推進国・組織・機関との間での、強力な多国間連携・協働・コミュニケーションが必要となる。特に ASEAN 環境教育インベントリー・データベースと連携した共同活動や継続する情報普及活動は、AEEAP 2008-2012 を効果的に実践する上で必要とされる。

地域・国際イニシアティブとのつながり

アジア太平洋 ESD 地域戦略（Asia-pacific Regional Strategy for Education for Sustainable Development）、ミレニアム開発目標、アジェンダ 21、地球憲章イニシアティブ、環境的に持続可能な都市に関する ASEAN イニシアティブ(ASEAN Initiative for Environmentally sustainable cities)を通して、AEEAP 2008-2012 は、アクションプラン、特に UN DESD を実践する上で、地域及び国際イニシアティブと連結し、これを支援する。

戦略的アクション

戦略的アクションは、各ターゲットエリアと目標毎に作成されており、これらのアクションは、以下の要素を考慮に入れ、優先順に記載されている。

- (i) 既存の構造、イニシアティブ、またはメカニズム
- (ii) 認識されているニーズの重要度
- (iii) 記載されているアクションを実行するための資源(情報)の入手可能性
- (iv) 地域パートナーとの協働及び協力の可能性

各戦略的アクションには、「この戦略を実行する上で求められる活動」が時系列で記載され、「推奨される実施メカニズム」、「潜在的な推進者とパートナー」が後に続く。最後に、アクションプランの実施における効果的なモニタリングとアセスメント、また全体のパフォーマンスと効果を高めるため、各戦略的アクションの「パフォーマンス指標」と「成果指標」が特定される。

4 つのターゲットエリアにおいて確認される戦略的アクションと実践活動は、下記の場合を除いて加盟国によって実行される。特定の戦略的アクションまたは活動が加盟国と ASEAN レベル共同の活動である場合、もしくは、ASEAN レベルのみの活動であり、そのため支持国、支持団体、支持機関がアクションプランの実践に責任を持つ場合である。

戦略的アクションの概観

ターゲットエリア 1：フォーマル・セクター

目標

- 1.1 各加盟国において、全てのレベルのフォーマルセクターに（国の能力と指針に沿って）環境教育が組み込まれる。

1.2 活動的な継続調査を通して、環境教育を向上させる。

戦略的アクション／優先事項 1

1.1.1. 基礎教育システムにおける国のカリキュラムが、どの程度環境教育・ESD を含んでいるかを検討する、「基準アセスメント」評価を確立する。

戦略的アクション／優先事項 2

1.1.2. 教員養成プログラムや実務者訓練において、どの程度環境教育・ESD の理論と演習に取り組んでいるかを検討する、「基準アセスメント」評価を確立する。

戦略的アクション／優先事項 3

1.1.3. 教育の質を保証するシステム(=国家基準)が関連分野において、環境教育・ESD の扱いを必須とするようにする。

戦略的アクション／優先事項 4

1.1.4. 環境教育・ESD 問題に関する研究を促進し、この分野の継続的な発展を確実なものにする。

ターゲットエリア 2：ノンフォーマル・セクター

目標：

2.1 環境教育に関する文化的・伝統的・現代的な知識の統合を通じて、加盟国のノンフォーマル・セクターを強化し、地方・地域・国際的な環境問題に対処する。

戦略的アクション／優先事項 1

2.1.1 ASEAN 地域全体で、持続可能な学校（例：エコスクール、グリーンスクール）の構想と実践を広める。

戦略的アクション／優先事項 2

- 2.1.2 その地方の文脈に沿った環境教育カリキュラム・教材・資料を作成し、地方／コミュニティレベルにおいて ESD を補う。

戦略的アクション／優先事項 3

- 2.1.3 環境的に持続可能な都市を発展させる上で、重要な統合手段となる環境教育を、各加盟国において促進する。(加盟国と ASEAN レベル共同の活動)

戦略的アクション／優先事項 4

- 2.1.4 環境的に持続可能なビジネスを促進するため、適切にデザインされ、目標を定めた環境教育を活用する。

戦略的アクション／優先事項 5

- 2.1.5 国レベルの活動基盤として機能すべく「ASEAN 環境週間」を推進し、各加盟国の関係者と共に地域の環境意識を高める。(加盟国と ASEAN レベル共同の活動)

ターゲットエリア 3：人的資源能力開発

目標：

- 3.1 加盟国の環境教育や ESD に関する人材層を育成する。

戦略的アクション／優先事項 1

- 3.1.1 フォーマル、ノンフォーマル両セクターの関係者を対象にした、持続可能な開発トレーニングのニーズに沿う形で、環境教育の基準を作成する。

戦略的アクション／優先事項 2

- 3.1.2 主要な関係者を対象に、環境教育と ESD トレーニングの機会を提供する。

戦略的アクション／優先事項 3

- 3.1.3 主要なターゲット・グループ（例えば、公務員、議員や公選された役人、マスコミ関係者、青少年、女性など）を対象に、ASEAN 持続可能な開発のための環境教育に関する、リーダーシップトレーニングプログラム（短期コース）を行う。（ASEAN レベルの活動）

戦略的アクション／優先事項 4

- 3.1.4 地域の関係者を対象に、ASEAN 環境教育／ESD 奨学金を設置する。（ASEAN レベルの活動）

ターゲットエリア 4：ネットワーク・協働・コミュニケーション

目標：

- 4.1 地域内の環境情報・技術・資源（resources）の交流方法を改善する
- 4.2 地方／国・地域・国際レベルでのフォーマル、ノンフォーマルネットワークを介して、環境教育及びトレーニングへのサポートを拡大する

戦略的アクション／優先事項 1

- 4.1.1 ASEAN における環境教育と ESD に関する情報普及・交流・学習の重要基盤となる ASEAN 環境教育インベントリー・データベース(AEEID)を、積極的に推進、管理する。（ASEAN レベルの活動）

戦略的アクション／優先事項 2

- 4.2.1 全 ASEAN にわたる、青少年持続可能な環境ネットワークを構築する。（加盟国と ASEAN レベル共同の活動）

戦略的アクション／優先事項 3

- 4.2.2 ASEAN 持続可能な学校／グリーン・スクール／エコ・スクールのネット

トワークを設立する。(ASEAN レベルの活動)

戦略的アクション／優先事項 4

4.1.2 地域の環境教育関係者を対象に、情報・教材・体験・ネットワークなどの交流基盤となる ASEAN 環境教育会議／フォーラムを毎年設置する。

戦略的アクション／優先事項 5

4.2.3 環境教育と ESD 変革の効果的な実践者・促進者・コミュニケーター・エージェントとなるために、地域における既存の NGO、大学、またメディアのネットワークを構築し、強化する。

実施メカニズム

最終的には、AEEAP 2008-2012 成功の鍵は、当プランの戦略的アクションを実践するメカニズムの有効性にあり、これがなければ、アクションプランの目標は実現できない。

現在、ASEAN は環境問題に対処する際には、「主導国」メカニズム (lead country mechanism) を採用しているが、一方で ASEAN 環境教育作業部会 (AWGEE) を設置することで、アクションプランの成功を高め、また、地域の協力とコミュニケーションを促進できると考えられている。

多様な戦略的アクションを支持する加盟国の団体や機関の支援を受け、規定されたアクションを実践し、活動のモニタリングと評価を行う責任は、主に加盟国自身にある。また、環境教育に関する主導国は、提案されている ASEAN 環境教育作業部会 (AWGEE) の支援を受け、地域の連携とコミュニケーションを図る責任を有する。アクションプラン実施における、あらゆる局面での支援と協力は、特に ASEAN プラス 3 諸国等の ASEAN の対話パートナーや、地域／国際機関、団体、組織によっても要請されるものである。

加盟国と他の ASEAN 関連機関が戦略的アクションを実行しモニタリングする上で、ASEAN 事務局は重要なサポートと連携の役割を果たす。また、事務局は、プランにおける地域レベルの主要な活動を行う上でアドバイスと情報を提供し、会議の調整と資金確保を援助する。その他、ASEAN 環境高級事務レベル会議やその他関係者に対して、アクションプランの年次報告を作成し配布する責任を有する。

ASEAN における環境教育主導国

ASEAN 環境教育における主導国は、AEEAP 2008-2012 の調整及びコミュニケーションを行う重要な役割を果たす。また、ASEAN 事務局の援助を受け、主導国はアクションプランの地域コーディネーターの役割を担う。主な責任は下記の通りである。

- 各国のフォーカルポイントと多様な地域推進組織と共に、プランの戦略的アクション実施に関するモニタリング、評価、レポート作成を行う。
- ASEAN 事務局と協調して、アクションプラン実施のための地域活動を調整する。

各国の環境教育フォーカルポイント

各国の環境教育フォーカルポイントは、アクションプランの枠組みに関する国の活動と達成度の、定期的なモニタリング及び評価を行う。加えて、国レベルにおける戦略的アクションの実施を行うコーディネーターとしての役割を担う。フォーカルポイントはまた、アクションプランに示されているよう、環境教育における主導国及び ASEAN 事務局とコミュニケーションを図る責任を有する。国の環境教育フォーカルポイントの主な責任としては、以下のようなものが挙げられる。

- アクションプランの戦略的アクションを実践するため、国レベルの支援や資源の動員を同定する。
- 国の関係者の AEEAP に関する意識を高める。
- アクションプランの目標と協調するような、国レベルの関係者間ネットワークを促進する。
- アクションプランの戦略的アクション及び活動を実行するため、国の組織、機関、その他の団体を動員する。
- AEEAP の評価及び報告メカニズムの枠組みと実施計画案の範囲において、国による戦略的アクションの進展を評価し、モニタリングを行う。
- AEEAP 報告枠組みと実施計画案に示されているように、環境教育における主導国及び ASEAN 事務局と連絡をとる。
- 多様なコミュニケーション・チャンネル（新聞・会合・フォーラム・セミナー・マスメディアなど）を通じて、国レベルの関係者間における情報の共有を調整する。
- AEEID 及び関係する ASEAN レベルの会議を介して、環境教育関連情報の共有を調整する。

ASEAN 環境教育作業部会

提案された ASEAN 環境教育作業部会（AWGEE）は、AEEAP 2008-2012 の成功実施に向けて、地域の調整及び協調を推進する。また、AWGEE は国の環境教育フォーカルポイントによって構成されている。AWGEE の主要な責任は以下の通りである。

- アクションプランの実践を調整し、プランの進捗状況、及び4つのターゲットエリアの目標達成に向けた戦略の全体的な効果についてモニタリング及び評価を行う。

- その他の関連する地域及び国際機関と連動、協調する。
- 加盟国内でのアクションプラン実践に向けて、共通のアプローチを構築する。
- 各加盟国による戦略的アクションへの効果的な参加を促しサポートする。

推進組織 (Champion Organisations)

地域の推進組織は、戦略的アクション達成に向けた先導的な役割を担う事に同意している加盟国の組織である。推進組織は特定される必要があり、組織と ASEAN 間に、あるいは国レベルの戦略的アクションの場合には推進組織と関連省庁・環境省・または同等機関との間に、公式または非公式のパートナーシップを、活動の性質によって結ぶ必要がある。推進組織は、AEEAP 報告枠組みと計画の範疇において、各プロジェクト及びプログラムの実践、進行状況のモニタリングと評価、また環境教育における主導国及び各国の環境教育フォーカルポイントに対して、定期的に報告を行う責任がある。

資源動員のためのパートナー

AEEAP 2008-2012 の成功はまた、戦略的アクションと活動を実行するための、資金と技術的資源の支援を確保する ASEAN 及び加盟国の能力に大きくかかっている。こうしたサポートは、国際または多国間機関、国際的な開発銀行（例えば、アジア開発銀行（ADB）、世界銀行）、政府間組織、財団、NGO を通じたパートナーシップのアレンジにより確保できるかもしれない。

加えて、地域の環境教育をサポートする民間部門の役割を更に強化しなければならない。環境教育トレーニング・コース及び、関連活動の実行能力と可能性を高めるため、創造的で革新的な資金調達メカニズムを、ASEAN、加盟国、支持団体が共同で構築する必要がある。また、環境教育に関する関係構築とパートナーシップを支援するため、各加盟国において環境教育を伝統的にサポートしている企業から成る、民間部門諮問グループの設立が検討されるべきである。

追加的メカニズム

AEEAP の目標達成に向けて、効果的及び協調的アクションを確実にするには、コミュニケーションと情報の共有が最も重要となる。これを促進するには、以下の4つの主要なコミュニケーションメカニズム、もしくは基盤が強化、形成される必要がある。

- (i) AEEID と ASEAN 環境教育 e メールニュースレターの整備。
- (ii) 年次の環境教育会議、またはフォーラム。
- (iii) 国及び地域の環境教育ネットワーク。
- (iv) 加盟国による AEEAP 報告枠組み、実施計画案、総合地域 AEEAP 年次報告。

モニタリングと評価

戦略的アクションレビューの経過を追跡して、基本データを提供するために、AEEAP 2008-2012 の効果的なモニタリング及び評価メカニズムを形成する必要がある。AEEAP 2008-2012 の望ましい成果の達成に向けた、戦略的アクションの一貫した定期的モニタリング、評価、及び報告は、アクションプランが成功するための重要な要素となる。これはビエンチャン行動計画、項目 3.3.3.1、パブリック・アウェアネスと環境教育を反映している。

基準と指標

明確に定義された簡潔で測定可能な指標を有する事は、目標と成果の進行状況を効果的にモニタリングし、評価する上で最も大切な基準となる。AEEAP 2008-2012 の戦略的アクション構想には、2種類の指標が組み込まれている。

- (i) パフォーマンス指標：加盟国及び推進組織による戦略的アクションの実践度合いをモニタリングする。
- (ii) 成果指標：プランに記載されている行動や活動を実行した結果、どのような情報、教材、手段、資料・教材などが開発されてきたかを測定する。

報告枠組み

国の環境教育フォーカルポイントと推進組織による定期的な報告は、2通りの方法で行われる。第一に、各加盟国と支持組織は、半年ごとに以下の情報を含む環境教育活動のサマリーレポートを作成する。

- (i) 実行されてきたプロジェクト／プログラムが、現在進行中か、もしくは最近開始されたか。
- (ii) 最近のトレーニング・イベント、ミーティング、会議、他の関連イベントについての報告。
- (iii) 新しいカリキュラム、教材開発のニュース。
- (iv) 賞、表彰、奨学金など。
- (v) 地域の関係者が興味を持つような、環境教育とESDに関するその他の様々なニュース。

このレポートは、国の環境教育フォーカルポイントと推進組織により作成され、AEEID のホスト国に報告される。情報は、半年ごとに ASEAN 環境教育電子ニュースレターとして編集、発行され、E メールにて関係者に送られる。もしくは、AEEID のウェブサイト上で入手できる。レポートの作成は、各加盟国における環境教育フォーカルポイントの責任となる。

第二の報告は、国の環境教育フォーカルポイントと推進組織による、特定の戦略的アクションに関する年次経過報告となる。この報告は、下記 Annex 中にある戦略的アクション構想に規定されたパフォーマンスと成果指標に基づき、年次の ASEAN 環境高級事務レベル会議が開催される少なくとも 1 ヶ月、2 ヶ月前に報告される必要がある。加盟国と推進組織によるモニタリング及び評価レポートは、環境教育に関する主導国と ASEAN 事務局に送付された後、統合される。ASEAN 事務局は、提供された情報をまとめ、年次の ASEAN 環境高級事務レベル会議における検討材料として、AEEAP 2008-2012 年次報告書を作成する。

実際にこうした作業が開始される前に、環境教育に関する主導国と AWGEE によって、実行可能な報告枠組みと実施計画案が作成され、合意される必要がある。また、各加盟国と推進組織は、モニタリング手段や方法、アプローチを発展させる責任がある。報告枠組みは、単純であるが包括的であり、推奨されたパフォーマンス指標による評価とともに、戦略的アクション構想により導かれる必要がある。報告枠組みの作成は、AEEAP2008-2012 を実践する上での始めの第一歩となるべきだろう。

ANNEX:戦略的アクション構想

ターゲットエリア 1：フォーマル教育

戦略的アクション／優先事項 1

- 1.1.1. 基礎教育システムにおける国のカリキュラムが、どの程度環境教育・ESD を含んでいるかを検討する、「基準アセスメント」評価を確立する。

この戦略を実行する上で求められる活動

1. レビューとインベントリー作成を行うため、国の作業部会または委員会を、指定または新たに設置する。
2. 加盟国における全ての資料／教材を対象に、環境教育に富んだカリキュラムと内容をレビューし、インベントリーを作成する（各国はまず始めに、自国のレビューとインベントリーを構築する）。
3. 必要に応じて、収集された情報と新たに見出された事項を英語に訳し、ASEAN に広く配布する。
4. インベントリー報告を配布し、AEEID を介して収集された資料を共有する。
5. 地域レベルのワークショップを開催し、ASEAN において、将来の環境教育とESD を高めるために、インベントリー資料がどのように有効利用できるかを話し合う。（ASEAN レベルの活動）
6. 関係省庁に報告する。

推奨される実施メカニズム

- 各加盟国の教育省または基礎教育部局における、カリキュラムの枠組み。
- 各加盟国に設置された各省間の ESD 作業部会または委員会。

潜在的な推進者とパートナー

組織	協力及び協働の可能性
環境省	レビューとインベントリーの調整を行う。
教育省	インベントリーの枠組みの開発とそのプロセス（必要であれば）を支援し、また小中学校レベルを対象とした、教材／資料の収集、インベントリーの調整を行う。
高等教育省（ministry of higher education）	高等レベル（tertiary level）でのデータ収集と調整を支援する。
東南アジア教育大臣機構	省庁間協力とコミュニケーション、特に教育省と環境省間の協力とコミュニケーションを、支援する。
ASEAN 大学ネットワーク (AUN)	インベントリーの推進、評価活動、高等レベルでのデータ収集の調整を支援する。
ASEAN 財団	戦略的アクションの推進を支援する。

パフォーマンス指標

- 環境教育に富んだカリキュラムと内容を対象に実施された、インベントリーの数。
- 報告を提出した国の数。

成果指標

- インベントリー評価報告。
- AEEID よりダウンロードできる教訓や資料、もしくは、少なくとも入手可能なものや情報取得方法に関する関連リンクや連絡先。

戦略的アクション／優先事項 2

- 1.1.2. 基礎教育システムにおける国のカリキュラムが、どの程度環境教育・ESD を含んでいるかを検討する、「基準アセスメント」評価を確立する。

この戦略を実行する上で求められる活動

1. 評価を行うため、国の作業部会または委員会を、指定または新たに設置する。
2. 資料／教材やトレーニング方法など、教員養成プログラムをレビューし、環境教育・ESD がどの程度組み込まれているかを評価する。
3. 必要に応じて、評価のため、収集された情報を英語に訳す。
4. AEEID を含む、国や地域のコミュニケーション・チャンネルを通じて、情報を普及し共有する。

5. 国レベルのワークショップを行い、教師の教育プログラムをレビューし、学校教育セクターを通して環境教育及びESDを強化する戦略を構築する。
6. 関係省庁に報告する。

推奨される実施メカニズム

- 教員養成や実務者訓練プログラムの既存の枠組み・カリキュラム。
- 教育学位を提供している教師養成機関または大学。

潜在的な推進者とパートナー

組織	協力及び協働の可能性
環境省	レビューの調整を行う。
教育省	レビューとアセスメント過程を支援し、その後、国レベルのワークショップを支援する。
高等教育省 (ministry of higher education)	教員養成機関、また教員養成及び実務者訓練を提供している大学と共に、アセスメントの調整を支援する。
東南アジア教育大臣機構	教育省と環境省間の省庁間協力とコミュニケーションを支援する。
ASEAN 大学ネットワーク (AUN)	高等教育機関と共にアセスメント活動の促進を支援する。

パフォーマンス指標

- 行われた基礎研究の数。
- 各国にて研究に参加している大学、教師養成・トレーニング機関の数。
- 既存の教師養成プログラムのカリキュラムに関する情報を提供している加盟国の数。

成果指標

- 各加盟国からの基準データ。
- 教員養成プログラムのレビューに関する加盟国の報告。

戦略的アクション／優先事項 3

- 1.1.3. 教育の質を保証するシステム(=国家基準)が関連分野において、環境教育・ESDの扱いを必須とするようにする。

この戦略を実行する上で求められる活動

1. アセスメントを行うため、国の作業部会または委員会を、指定または新たに設置する。
2. 関連分野の全教育レベルにおける、既存の質的保証システムをレビューし、環境教育／ESD がどの程度組み込まれているかを評価する。
3. 必要に応じて、レビューのため収集された情報を英語に訳す。

4. AEEID を含む、国や地域のコミュニケーション・チャンネルを通じて、情報を普及し共有する。
5. 国レベルのワークショップを行い、アセスメントの草稿をレビューし、環境教育・ESD の国家教育基準への導入促進を提言する。
6. 関係省庁に報告する。

推奨される実施メカニズム

- 高等教育機関、教育省における、教育の質を保証する既存のシステム。

潜在的な推進者とパートナー

組織	協力及び協働の可能性
環境省	教育省と緊密に連携し、ASEAN 事務局やその他関係者に AEEID を介してアセスメントの結果を配布する責任を有する。
教育省	レビューとアセスメント過程を調整する。また、国レベルのワークショップを開催し、アセスメントのレビュー、提言を行う。
高等教育省 (ministry of higher education)	高等教育機関と共に、アセスメントの調整を支援する。
東南アジア教育大臣機構	教育省と環境省の省庁間協力とコミュニケーションを支援する。
ASEAN 大学連合 (AUN)	高等教育機関と共にアセスメント活動の促進を支援する。

パフォーマンス指標

- アセスメントを行った加盟国の数。
- 報告を提出した加盟国の数。
- 関係する提携大学や機関の数。

成果指標

- 参加加盟国から提出された、関係分野に係る、教育の質を保証するシステムに関するアセスメント報告。

戦略的アクション／優先事項 4

- 1.2.1. 環境教育・ESD に関する研究を促進し、この分野の継続的な発展を確実なものにする。

この戦略を実行する上で求められる活動

1. 国の研究計画を通じ、環境教育・ESD が研究に値する課題である事を提唱する。
2. 作業部会または委員会を指定、あるいは新たに設置し、4つのターゲットエリア及びESDに関連する環境教育の主要な研究課題を特定する。
3. 大学、研究機関に情報を普及する。
4. 環境教育に関する優れた研究プロジェクトを讃える国レベルの賞を設置する。

5. 異なった関係者グループ（例えば、教師、研究者、政策者など）を対象に、研究結果を発表する機会をつくる。

推奨される実施メカニズム

- 国の既存の研究計画。
- 地域内の、既存の研究団体や研究機関。
- 加盟国と連携大学にて行われた大学院での研究。

潜在的な推進者とパートナー

組織	協力及び協働の可能性
環境省	大学、研究機関と緊密に連携し、作業部会の活動を調整する。大学、研究機関、関係省庁、そして ASEAN 事務局に情報を配布する責任を有する。
現在、環境教育・ESDの研究を行っている大学、研究機関	作業部会のメンバーを提供し、国レベルの環境教育・ESD研究を支援する。
東南アジア教育大臣機構	環境教育・ESD研究の調整と進展を支援し、イニシアティブと研究プロジェクト・プログラムの統合に関して、各加盟国の教育相との連携を助け、研究発表の機会を作る。
ASEAN 大学ネットワーク (AUN)	国立大学、研究機関を介して、各加盟国における環境教育・ESD研究の支持促進を支援する。また、研究発表の機会作りを支援する。
国連大学高等研究所	持続性のための世界高等教育パートナーシップ(GHESP)を介して、カリキュラム開発と研究に係る情報や手段を高等教育機関に提供する。

パフォーマンス指標

- 各加盟国で行われた環境教育・ESDに関する研究プロジェクトの数。
- ASEAN全体で行われた環境教育・ESDに関する研究プロジェクトの数。ASEAN地域外の研究者によって加盟国にて行われた研究も含む。
- 加盟国に設立された研究表彰プログラムの数。
- 専門誌に掲載された研究の数（どの種類の専門誌でも）。

成果指標

- 研究論文と研究結果が、AEEIDにアップロードされ入手可能となる。

ターゲットエリア 2：ノンフォーマル教育

戦略的アクション／優先事項 1

ASEAN 地域全体で、持続可能な学校（例：エコスクール、グリーンスクール）の構想と実践を広める。

この戦略を実行する上で求められる活動

1. 省庁、市民社会、民間から成る作業部会か運営委員会を設置・指定し、「持続可能な学校」/「グリーン・スクール」国家政策、ガイドライン、枠組みを開発する。
2. 関係するターゲット・グループ（例：国・地域・地区の教育担当官、学校運営者、教師、NGO）を対象に、国レベルの作業部会を開催し、「持続可能な学校」/「グリーン・スクール」構想と枠組みを推進する。
3. シンガポールの「アダプト・ア・スクール プログラム」をモデルに、民間部門参画のアイデアを促進し、可能であれば類似のプログラムを発展させる。
4. 「持続可能な学校」/「グリーン・スクール」コンテストを開催することにより、関心ある学校は計画案を作成し、持続可能な学校であることを認知する。
5. 「持続可能な学校」/「グリーン・スクール」表彰の計画を構築する。
6. 「持続可能な学校」/「グリーン・スクール」プログラムの定期的な評価を行い、AEEID、ASEAN 環境教育ニュースレター、その他のコミュニケーション・情報チャンネルとメカニズムを介し、国と地域の持続可能な学校に関する最良事例を広める。

推奨される実施メカニズム

- 関係省庁による国家政策もしくは国の指導。
- 既存する環境教育フォーラムとネットワーク。
- 国の作業部会、運営委員会の設置。
- 省庁や NGO が推進している現在進行中、または将来の環境教育プログラムとイニシアティブ。「持続可能な学校」/「グリーン・スクール」の枠組みは、省庁、NGO による各プログラム及びプロジェクトに組み入れることができる。
- 地域の環境教育センターと教育関連省庁。
- 既存の関連する表彰計画(スキーム)とプラットフォーム。

潜在的な推進者とパートナー

組織	協力及び協働の可能性
環境省	国の作業部会と運営委員会の活動を調整し、プログラム全般の実施に関して環境省と緊密に連携する。
教育省	支援と情報を提供し、学校と連携する。また、作業部会、運営委員会に携わる。
ブルネイ、インドネシア、マレーシア、タイの環境省	持続可能な／エコ／グリーン・スクールプログラムに関する経験を共有し、情報を提供する。
NGO 及び、関連する市民社会ネットワーク	国の作業部会、運営委員会に参加する。また、学校や周辺委員会と緊密に連携し、持続可能な／グリーン・スクールになる基準を満たすよう支援する。
大学、専門学校を含む高等レベル (tertiary level) の機関	国の作業部会、運営委員会に参加する。また、モニタリングや学校でのトレーニングを支援し、自身も持続可能な／グリーン・キャンパス／機関となる事が出来る。
民間部門	「アダプト・ア・スクール」タイプのイニシアティブを紹介し、持続可能なスクールのパートナー、スポンサーとなる

ハンス・サイデル財団、 ジャカルタ	インドネシアにおける「持続可能な学校/「グリーン・スクール」の発展に関する情報、専門的知識、経験を共有する。
ユネスコ/ユネスコアジア 文化センター	「持続可能な学校/「グリーン・スクール」で使用される関連資料/教材を再パッケージし作成する。

パフォーマンス指標

- 「持続可能な学校」に申請した年間の学校数（各加盟国あたり）。
- 「持続可能な学校/「グリーン・スクール」の数（プログラム、加盟国によっては、異なる実践レベル毎の学校数によって分類できる）。
- 受賞した学校の数。

成果指標

- 「持続可能な学校/「グリーン・スクール」の政策、ガイドライン、枠組み。
- 「持続可能な学校/「グリーン・スクール」に関する年次報告。
- 最優良事例を紹介している出版物やウェブサイト。
- 「持続可能な学校/「グリーン・スクール」自身。

戦略的アクション／優先事項 2

その地方の文脈に沿った環境教育カリキュラム・教材・資料を作成し、地方／コミュニティレベルにおいて ESD を補う。

この戦略を実行する上で求められる活動

1. 全ての加盟国で、環境教育カリキュラム・教材作成に関するセミナーを開催する。
環境教育カリキュラム・教材は、ESD の理念と実践、及び主要関係者を対象にした、カリキュラムや教材の基準・ガイドラインに関連して作成される。また、主要な関係者は、地方レベルにおける潜在的な「推進／指導」団体・機関・個人となり得る。
2. カリキュラム・教材・資料の作成に関して、地方のコミュニティや学校と連携している「推進／指導」団体・機関・個人を特定する。
3. 推進者・指導者は、学校や地方のコミュニティ関係者と連携し（地方の作業部会を設置する）、カリキュラムや教材作成に取り入れられそうな、その地方の知識・問題・資源についてアセスメントを行う。
4. 推進者・指導者は、関係者（例：国の作業部会）と緊密に連携し、異なったターゲット・グループ（例：小中学生や大人）を対象に、その地方に関する環境教育・ESD カリキュラム・教材・資料を作成する。
5. 推進／指導団体・機関は、地方関係者による作業部会と連携し、作成されたカリキュラムと資料の使用方法に関するワークショップを、教師、教育者、その他関連グループを対象に開催する。

6. 作成されたカリキュラム、教材、資料の継続的なサマリー評価を行う。
7. 作成過程、得られた教訓、カリキュラムや資料(可能であれば)に関する情報を AEEID にアップロードする。

推奨される実施メカニズム

- 関連省庁による国家政策、または国家の指導。
- 既存の環境教育フォーラムとネットワーク。
- 国の運営委員会及び作業部会。
- 「持続可能な学校」/「グリーン・スクール」と既存のネットワーク。
- 地域の環境教育センターと教育関連部局。
- AEEID と情報及び教材に関する国のインベントリー・データベース。

潜在的な推進者とパートナー

<i>組織</i>	<i>協力及び協働の可能性</i>
環境省	プロジェクト全体を調整し、「推進／指導」団体・機関・個人と緊密に連携する。また活動をモニタリングし評価する。
教育省	環境省及び「推進／指導」団体・機関・個人と連携して活動を遂行する。
国の NGO とその他市民社会グループ	「推進／指導」団体として、地方関係者と直接作業し、カリキュラム、教材、資料を作成する。
大学、教師養成機関	推進／指導機関・個人として、地方関係者と直接作業し、カリキュラム、教材、資料を作成する。

ユネスコ／ユネスコアジア 文化センター／UCN	技術的な援助と情報を提供する。
国連大学高等研究所 持続 可能な開発のための教育に 関する地域の拠点	技術的な援助と情報を提供する。

パフォーマンス指標

- その地方に関するカリキュラムの作成数（ターゲット・グループごと）。
- 作成されたカリキュラムや教材を活用するためにトレーニングを受けた人数。
- 作成されたカリキュラムや教材を積極的に活用している学校やグループの数。

成果指標

- 作成され、入手可能である、その地方に関するカリキュラム・教材・資料。
- 教材作成の評価とアセスメントに関する報告。

戦略的アクション／優先事項 3

環境的に持続可能な都市を発展させる上で重要な統合手段となる環境教育を、各加盟国において促進する。

この戦略を実行する上で求められる活動

1. 公共部門、民間部門、市民社会の参加のもと、既存する国の作業部会を設置、指定し、「環境的に持続可能な都市に関する ASEAN イニシアティブ」(AIESC)に関する資料を検討する。そして、「環境的に持続可能な都市」に関する枠組みに環境教育をどう組み込むか提案を行う。
2. 環境的に持続可能な都市に関する ASEAN 作業部会のメンバーである、国レベルのフォーカルポイントに対して、提案を広める。
3. アセスメントの結果について ASEAN 事務局と連絡をとり、提案を枠組みにどう取り込むか AWGESC とフォローアップを行う。また、AEEID へ報告をアップロードする。

推奨される実施メカニズム

- 環境的に持続可能な都市に関する ASEAN 作業部会を介した AEISC。
- 国のミレニアム・デベロップメント・ゴール。
- 国のアジェンダ 21 戦略。
- 省庁間の作業部会もしくは、合同委員会。

潜在的な推進者とパートナー

組織	協力及び協働の可能性
環境省	環境教育／環境的に持続可能な都市に関する作業部会の活動を支援し調整する。

大学、高等教育機関	環境教育／環境的に持続可能な都市に関する作業部会に、情報と専門的意見を提供する。
シンガポール環境庁	シンガポール・グリーンプラン 2012 に関する情報と経験を共有する。
AWGESC の国レベルのフォーカルポイント	環境教育／環境的に持続可能な都市に関する作業部会と緊密に連携し、AWGESC へ提案を行い、環境教育を現行の枠組みにどう取り込むか方法を見いだす。
国連環境計画	エコハウス・プロジェクトに関する情報を提供する
プラス 3 中国、韓国、日本	専門的意見、情報、技術的アドバイス、最良実践例などを提供する。

パフォーマンス指標

- 国レベルの環境教育／環境的に持続可能な都市に関する作業部会を設置している加盟国の数。
- ASEAN 環境的に持続可能な都市に関する枠組みに、どの程度環境教育が統合されているか。

成果指標

- 各加盟国によるアセスメント及び提案に関する報告。
- 環境教育を一要素として組み込んでいる AIESC。

戦略的アクション／優先事項 4

- 2.1.4 環境的に持続可能なビジネスを促進するため、適切にデザインされ、目標を定めた環境教育を活用する。

この戦略を実行する上で求められる活動

1. 民間部門で使用できる、既存の環境教育教材のアセスメントを行う。
2. 地域性に重点を置いた（各国特有の）トレーニング／ネットワーク・プログラムを、変化の担い手である民間企業を対象に作成する。これは、シンガポール環境庁による「企業の環境推進者・プログラム」をモデルにしている。
3. ワークショップやネットワークを介して、民間部門の「環境推進者」ネットワークを構築する。
4. 環境推進者を介して、企業の持続可能性報告書を促進させる（グローバル・リポーティング・イニシアティブ（GRI）、ISO14000、トリプルボトムライン、コンパサアセスメントなど）。
5. 民間部門の環境的持続可能性に関する表彰プログラムを展開する。
6. グリーン・ビジネスに関するウェブサイトを構築する。

推奨される実施メカニズム

- 既存の経済連盟や団体（例：アジア生産性機構、アジア生産性機構の各国支部、持続可能な開発のための世界経済人会議など）。
- 国及び国際的レベルにおける、既存の多様な環境管理認証と持続可能性報告書イニシアティブ（例：タイの「グリーン・リーフ」、「グリーングローブ」など）。
- ビジネス支援と養成機関。例えば、タイの産業環境機関連盟のように環境管理に関するトレーニング・コースを提供するなど。
- 既存のビジネス関係の賞や認証プログラム（例：タイの「グリーン・リーフ」）。

潜在的な推進者とパートナー

組織	協力及び協働の可能性
環境省	環境教育に関する作業部会の活動を支援し調整する。
MBA プログラム	環境教育に関する作業部会に、情報と専門的意見を提供する。
シンガポール環境庁	企業の環境推進者・プログラムに関する情報と経験を共有する。また、その他、環境管理及び持続可能性に関して民間部門と協力したり、教育を取り入れた他のプログラムの情報や経験も共有する。
国レベルの経済団体や機関	民間企業を対象に、環境教育プログラムを促進し、プログラムに関する情報、アドバイス、また可能な支援を行う。
持続可能な開発のための世界経済人会議	持続可能な開発に関するビジネス・ケースを推進し、最良事例、能力開発・トレーニングなどを共有する。
環境や持続可能性に関するビジネス認証プログラム：グリーングローブ、ISO、GRI、その他	情報、技術的専門知識、アドバイス、協力などを提供する。
タイ環境研究所-ビジネスと環境プログラム	ビジネス界における環境管理を促進するため、専門的意見と情報を支援する。
プラス 3 (中国、韓国、日本)	専門的意見、情報、技術的アドバイス、最良事例などを提供する。

パフォーマンス指標

- 環境管理及び持続可能性に関するビジネスガイドライン、枠組み、または方針を作成した加盟国の数。
- 環境及び／あるいは持続可能性報告書に関する枠組みを、何らかの形で遂行している各加盟国における企業の数、またはパーセンテージ。
- 環境推進者ネットワークを何らかの形で構築している加盟国の数
- 環境管理または、持続可能性に関した賞を授与した企業の数、及び種類。
- 経済界での環境に関する最良事例をウェブサイトで紹介している加盟国の数。

成果指標

- グリーンビジネス・ウェブサイト。
- 公表されている国のグリーン／持続可能なビジネス政策やガイドライン。

戦略的アクション／優先事項 5

- 2.1.5. 国レベルの活動基盤として機能すべく「ASEAN 環境週間」を推進し、各加盟国の関係者と共に地域の環境意識を高める。(加盟国と ASEAN レベル共同の活動)

この戦略を実行する上で求められる活動

1. ASEAN 環境週間の設置のための提案書を作成し、ASEAN 環境高級事務レベル会議に、承認のため提出する。(ASEAN レベルの活動)

2. 加盟国の環境大臣は、ASEAN 環境週間を支持する共同声明を発表する。(ASEAN レベルの活動)
3. ASEAN 環境週間プロモーション・ハンドブック／キットを作成する。ハンドブックとキットは、地方や国の団体、学校がキャンペーンの一環として、活動を推進し、取りまとめるために使用する。(ASEAN レベルの活動)
4. 加盟国は、ASEAN 環境週間プロモーション・ハンドブック／キットを国内の団体、学校、NGO などに配布する。
5. ASEAN のウェブサイトと AEEID を、ASEAN 環境週間促進のため活用する。(ASEAN レベルの活動)
6. 各加盟国は、アセスメントと活動範囲の報告を ASEAN 事務局に行い、情報を統合し ASEAN 関連機関にさらなる報告を行う。

推奨される実施メカニズム

- 国レベルの、既存の環境イベントやプログラム。
- 市民社会、環境教育、青少年、その他のネットワーク。
- 地域の環境教育センター。
- ASEAN ウェブサイト及び AEEID：オンラインで蓄積した情報を提供し、アイデア・経験・専門的意見の交流の場となる基盤を提供する。
- 加盟国における環境省庁のウェブサイト、またその他関連機関のウェブサイト。
- マスメディア（テレビ、ラジオ、印刷物）。
- 「持続可能な学校」/「グリーン・スクール」のネットワーク、及び学校におけるエコ／グリーンクラブ。
- ASEAN 環境教育ニュースレター。

潜在的な推進者とパートナー

組織	協力及び協働の可能性
環境省	シンガポール・グリーン・プラン 2012 に関する情報と経験を共有する。
市民社会、環境教育センター、青少年、持続可能な学校、その他の活動的なネットワーク	環境教育／環境的に持続可能な都市に関する作業部会と緊密に連携し、AWGESC に提案を行い、環境教育を現行の枠組みにどう取り込むか方法を見いだす。
民間部門	エコハウス・プロジェクトに関する情報を提供する。
メディア業界、報道機関 (ASEAN 情報文化委員会を含む)	専門的意見・情報・技術的アドバイス・最良事例などを提供する。

パフォーマンス指標

- ASEAN 環境週間に関する活動を積極的に推進し実施した加盟国の数。
- 環境週間中に行われた活動の数と活動の範囲。
- 活動に参加した人数と団体の数（国、及び ASEAN 全体）。
- 環境週間の活動を取り上げたマスコミ報道（記事）の数。

成果指標

- ASEAN 環境週間プロモーション・ハンドブック／キット。
- 活動に関する加盟国の報告。

ターゲットエリア 3：人的資源能力開発

戦略的アクション／優先事項 1

フォーマル・ノンフォーマル両セクターの関係者を対象にした、持続可能な開発トレーニングのニーズに沿う形で、環境教育の基準を作成する。

この戦略を実行する上で求められる活動

1. 国レベルにおける、環境教育・ESD に関するトレーニングのニーズを評価する計画及びスケジュールを立てる。
2. 環境教育トレーニングのニーズ評価を行う。
3. AEEAP 国別報告枠組みを介して、国や地域の関係団体に結果を広める。
4. 国レベルのワークショップを開催し、ニーズ評価の結果に基づいた、更なる取り組みを同定する。
5. AEEID 及び、AEEAP 報告枠組みを活かして結果を広める。

推奨される実施メカニズム

- エコ・スクールや地域の環境教育センターによる現行のネットワーク。
- 異なる団体や機関（例：関係省庁、NGO、国際機関、民間部門など）で実践されている、継続中及び将来の能力開発プログラム・プロジェクト。

- 情報を普及するための AEEID
- フォーマル・セクターにおける教員養成・教育機関、及び教育プログラム

潜在的な推進者とパートナー

組織	協力及び協働の可能性
環境省	環境教育のトレーニングに関するニーズ評価の開発を調整し、結果を分析し広める。
教育省	フォーマル・セクターでの、トレーニングのニーズ評価を支援する。
NGO と関連機関	フォーマル・セクター及びノンフォーマル・セクターでのニーズ評価を支援する。
大学、教育（教員養成）大学・機関	フォーマル・セクター及びノンフォーマル・セクターでのニーズ評価を支援する。

パフォーマンス指標

- 持続可能な開発のための環境教育トレーニングに関するニーズ評価を実施している加盟国の数。
- トレーニングに関するニーズ評価の報告書を提出した加盟国の数。

成果指標

- ニーズ評価のデータ。
- トレーニングに関するニーズ評価の加盟国からの報告。

戦略的アクション／優先事項 2

主要な関係者を対象に、環境教育と ESD トレーニングの機会を提供する。

この戦略を実行する上で求められる活動

1. 国のトレーニング・ニーズ評価報告より、主な関係者を対象にした持続可能な開発のための環境教育トレーニング計画を作成する(計画期間は各加盟国による)。
2. 計画に基づき、トレーニング・コースとカリキュラムを作成する団体、パートナーを特定する。
3. 国内及び地域におけるトレーニングの機会を継続的にモニタリングする。
4. 加盟国において参加可能である、現行のトレーニングの機会に関する情報を広める。また、トレーニング教材、優れた実践等の情報も、AEEID 等を介して広める。
5. AEEAP 2008-2012 を通じて、年次の集中トレーニング・コースを実施する。

推奨される実施メカニズム

- 国の環境教育ネットワーク及び環境教育センター、エコ／グリーン・スクール。

- AEEID が、トレーニング資料を蓄積し、トレーニングの機会に関する情報を広めるメカニズムを提供する。
- ASEAN 環境教育ニュースレター。
- フォーマル・セクター、ノンフォーマル・セクターにおける現行のトレーニング・コース、プログラム、カリキュラム（例：ユネスコ・持続可能な未来のための教育と学びのためのマルチメディア教員教育プログラム）。
- ユネスコ国際教育局により提供される、カリキュラム開発者アジア太平洋ネットワークの能力開発に関するリソースパック。

潜在的な推進者とパートナー

組織	協力及び協働の可能性
環境省	持続可能な開発のための環境教育に関するトレーニング・プランの作成を調整する。トレーニング・コースを作成、促進するための団体やパートナーを特定する。進捗状況の評価やモニタリングを調整する。また、AEEID や ASEAN 報告枠組みを通して、国内及び地域へ結果を広める。
教育省	教員、その他フォーマル・セクターのターゲット・グループを対象に、能力開発・トレーニング・ワークショップの開催と調整を支援する。
NGO と関連機関	トレーニング教材の作成、資源計画、能力開発・トレーニング・ワークショップの促進を支援する。
大学、教育（教員養成）大学・機関	能力開発トレーニング・ワークショップ開催に関する専門的意見を提供し、モニタリングやトレーニングの

	結果、成果、効果の評価を支援する。
HSFJ	トレーニング・プログラムの開発と実施を支援する。
APEID	トレーニング教材の作成、トレーニング・プログラムの開催、情報の普及を支援する。
ユネスコ	カリキュラム資料や、リソース資料を支援する。
UNU/IAS	関連する地域団体と連携して、地域のイベントに関する計画の作成と実施に寄与する。
アジア太平洋高等教育環境 訓練ネットワーク (NETTLAP)	関連する地域団体と連携して、地域のイベントに関する計画の作成と実施に寄与する。

パフォーマンス指標

- 加盟国／地域機関によって毎年行われる環境教育及びESD トレーニング・コースの種類と数。
- コース別、または全コースを受けた受講者の数。
- 参加者の仕事に関するトレーニング・プログラムの影響追跡。

成果指標

- AEEID を介して入手可能な各コースのトレーニング・カリキュラム、教材、資料
- トレーニングの結果として派生した、能力開発トレーニングやカリキュラム、教材、資料。

戦略的アクション／優先事項 3

主要なターゲット・グループ（例えば、公務員、議員や公選された役人、マスコミ関係者、青少年、女性など）を対象に、ASEAN 持続可能な開発のための環境教育に関するリーダーシップトレーニングプログラム（短期コース）を行う。(ASEAN レベルの活動)

この戦略を実行する上で求められる活動

1. リーダーシップ・コース作成のため、主要なターゲット・グループを特定する。
2. リーダーシップ・プログラムを開催する上で、地域団体との4年間に渡る責務や取り決めを確実にする。
3. 推進国・推進団体はプロポーザルを作成し、ASEAN 環境高級事務レベル会議がこれを検討・承認する。
4. 様々なターゲット・グループを対象にしたリーダーシップ・プログラムを支援するため、民間部門・地域団体・機関からの資金的コミットメントを確保する。
5. 異なるターゲット・グループを対象に、リーダーシップ・トレーニング・プログラムに関するカリキュラムを作成する。

6. 選出したターゲット・グループを対象に、ASEAN 持続可能な開発のための環境教育に関するリーダーシップ・プログラムを提供する。
7. 実施された各プログラムの成果に関するサマリーレポートを作成する。
8. 各リーダーシップ・プログラムの報告を広める。

推奨される実施メカニズム

- 持続可能な開発のための環境教育に関する、ASEAN 地域リーダーシップ・プログラムを開発する UNEP パートナーシップ。
- 持続可能な開発のための教育に関する地域の拠点／国連大学高等研究所。
- リーダーシップ・プログラムに関する情報を促進、普及させる上で、ASEAN ウェブサイト、AEEEID、ASEAN 環境教育ニュースレターは、主要なコミュニケーション・チャンネルとしてとして機能し得る。

潜在的な推進者とパートナー

組織	協力及び協働の可能性
UNU/IAS の RCE-ペナン、セブ、ボゴール、トラン、その他	対象を絞ったリーダーシップ・プログラムを開発、体系化させ、実施する。
国連環境計画-ROAP	資金の調整と確保を支援し、環境と持続可能な開発に関するトンジ・リーダーシップ・プログラムの経験による教訓を提供する。
ASEAN 大学ネットワーク (AUN)	リーダーシップ・プログラムを推進し、専門家及び指導者を提供する。

SEAMEO	特に、教育者や学校運営者のためのリーダーシップ・プログラムを推進する。また、専門家及び指導者を提供し、教育担当官を対象としたプログラムを開発、体系化し、開催することも可能。
加盟国の様々な大学	技術的な専門知識、及び発表者／指導者を提供する。また、対象を絞ったリーダーシップ・プログラムを開発し、体系化・開催することも可能である。
環境省	情報普及を支援する。

パフォーマンス指標

- 開催されるリーダーシップ・プログラムの種類（ターゲット・グループ）と数。
- ASEAN 関連のリーダーシップ・プログラムに参加した人数（ターゲット・グループ部門とは別に）。
- 異なるパートナーが参加した数（種類や部門も含めて）。

成果指標

- リーダーシップ・プログラムのサマリーレポート。
- 各リーダーシップ・プログラムのカリキュラム。
- 構築されたリーダーシップ・ネットワーク。

戦略的アクション／優先事項 4

地域の関係者を対象に、ASEAN 環境教育／ESD 奨学金を設置する。(ASEAN レベルの活動)

この戦略を実行する上で求められる活動

1. 推進国、推進団体は、プロポーザルを作成し、ASEAN 環境高級事務レベル会議がこれを検討・承認する。
2. 奨学金計画を管理する実施機関を設置する。例えば、トラストや、各加盟国政府から推薦されたメンバーで構成される公式評議会の設置など。
3. 持続可能な開発のための環境教育に出資する後援者を介して、奨学金計画の資金源を確保する。
4. 奨学金の基準を作成する。
5. 年次の ASEAN 環境教育／ESD プログラムを開始し推進する。
6. 資金調達を継続する。

推奨される実施メカニズム

- 推進国は企画書を作成し、ASEAN 環境高級事務レベル会議がこれを検討・承認する。
- ASEAN 事務局内にある、現行の ASEAN 奨学金計画を介して管理する。

潜在的な推進者とパートナー

組織	協力及び協働の可能性
ASEAN 事務局	主要な実施機関として、資金の増進、推進、支給を行う。
ASEAN 基金	奨学金資金の設置と増進を支援する。資金を推進し、専門的意見と情報を評議会と共有する。
加盟国関連の大学	ASEAN を介して、資金の推進を支援し、評議会の一

	員として働く。
--	---------

パフォーマンス指標

- 設立時の資金調達基金に集まった資金。
- 年間を通して集まった資金。
- 資金後援者数と、新しい年間後援者数。
- 計画を介して可能となる奨学金の数と種類。
- 加盟国ごとの奨学金申請者数。
- 年間の支援額。
- 奨学金を受けた全体の人数と加盟国別の人数。

成果指標

- 地域レベルでの奨学金計画を構築。
- 奨学金による報告、出版、研究など。

ターゲットエリア 4：ネットワーク・協働・コミュニケーション

戦略的アクション／優先事項 1

- 4.1.1 ASEAN における環境教育と ESD に関する情報普及・交流・学習の重要基盤となる ASEAN 環境教育インベントリー・データベース(AEEID)を、積極的に推進、管理する。(ASEAN レベルの活動)

この戦略を実行する上で求められる活動

1. AEEID を主催、開発、促進するため、推進国、推進団体、推進機関との同意を確認し取り付ける。
2. AEEID 及び関連活動の進展と管理のため、プロポーザルを作成し資金を確保する。
3. AEEID、及び AEEID の持つ機能やサービスを通して入手可能である情報や教材の種類などについて、関係者と ASEAN 地域レベルの調査を行う。
4. 各加盟国において入手可能な、全ての環境教育／ESD に関する情報と教材のアセスメントを行う。また地域外であっても、AEEID へのアップロードと参入が可能な物はその対象とする。
5. 関連する資料と情報を収集し、AEEID を強化する（AEEID の再構築も考慮に入れる）。

6. マスメディア、ASEAN 事務局のウェブサイト、加盟国や国際機関を通して、AEEID を再始動し推進する。
7. 主要な加盟国の情報通信技術指導者及び使用者を対象に、トレーニング・ワークショップを開催する。AEEID をどう評価し、どのように使用するか、情報のアップロードとダウンロードなどを含めて話し合う。
8. 環境教育と ESD に関する活動や教材、イベントなどについて、加盟国からの情報を定期的に収集しまとめる。また半年に一回、全ての主要な関係者を対象に、電子メールにて ASEAN 環境教育ニュースレターを配布する。ASEAN 環境教育ニュースレターに掲載される情報の種類は以下の通りである。
 - 各加盟国にて過去 6 ヶ月の間に行われた環境教育／ESD 活動のまとめ。
 - 近日中に行われる地域内のトレーニング・イベント、ミーティング及び会議。
 - 奨学金情報。
 - 地域内の重要なニュースやイベント。
 - AEEID にて入手可能な環境教育／ESD に関する最新の教材や資料。
9. 定期的なメンテナンスと管理
10. AEEID の状況及び、年次報告枠組みを取り入れた、活動に関する毎年の報告。

推奨される実施メカニズム

- 現行の AEEID。
- 加盟国のデータベースと教材（できれば英語使用のもの）。
- 加盟国の環境教育とその他の関連ネットワーク。

潜在的な推進者とパートナー

組織	協力及び協働の可能性
UNU/IAS の RCE (例：ペナンの Universiti Sains Malaysia)	RCE の総体的な使命として、AEEID を再構築し、主催、管理する能力と関心を持つ。
ASEAN 事務局	ASEAN のウェブサイト、ASEAN 環境教育ニュースレターなどの発行物を通して、AEEID の主要な推進者となる。
国連環境計画 ユネスコ	AEEID の調整と促進を支援する。また同時に、データベースへアップロードする情報及び資料を特定し収集する。
ASEAN 基金	AEEID をサポートし推進する。
プラス 3 (韓国、中国、日本)	データベースとウェブサイトを構築する上での専門的意見と経験を支援する。
各国環境省	AEEID への情報及び資料のアップロードと収集を支援する。また、ASEAN 環境教育ニュースレターに掲載する情報、イベント、活動について定期報告する。

パフォーマンス指標

- 国、地域別のヒット数。
- 双方向のフォーラム、または専門家ネットワークに参加した人数。
- AEEID を介して入手可能な情報量と情報のタイプ及び資料。
- ASEAN 環境教育ニュースレターの発行数。

成果指数

- 機能的で情報が常にアップデートされている電子データベース。
- ASEAN 環境教育ニュースレター。
- 加盟国及びプラス 3 国からのアクセスのしやすさ。

戦略的アクション／優先事項 2

- 4.2.1 全 ASEAN にわたる、青少年持続可能な環境ネットワークを構築する。（加盟国と ASEAN レベル共同の活動）

この戦略を実行する上で求められる活動

1. 環境と持続可能な開発に関する問題に関心を持ち活動している、各国の既存の青少年団体、グループ、及びネットワークを特定する。
2. 国レベルの青少年ネットワーク会議を開催し、関係グループを全て集めてネットワークとウェブサイトを構築する。
3. 現在行われている青少年活動を提供する。活動は、ディベート、絵画コンテスト、青少年キャンプ、青少年による発行物、現行の青少年活動集、青少年研修、青少年交流などを含む。
4. 毎年、青少年持続可能な環境フォーラムを国レベルで開催する（フォーラムでは、プレゼンテーション、円卓会議、絵画コンテスト、能力開発ワークショップ、ディベート、フィールドトリップ、社会奉仕活動などを行う）。

5. 毎年、活動の範囲と青少年環境ネットワークに関する評価とモニタリングを行う。
6. 毎年行われる青少年持続可能な環境ネットワーク・フォーラムを開催する推進国を特定する（ASEAN レベルの活動）。
7. ASEAN 全域にわたる、青少年持続可能な環境ネットワーク・フォーラムをまとめ、推進、開催する。フォーラムに参加するため、加盟国は国の代表を送りサポートする。（加盟国と ASEAN レベルの共同の活動）

推奨される実施メカニズム

- 国及び地域レベルの、現行の青少年プログラム及びネットワーク（例：青少年同盟、リーダーシップ・プログラム、エコクラブなど）。特に東南アジア青少年環境ネットワーク（SEAYEN）。
- 国連環境計画-バイエル・エコ・マインド青少年フォーラム。
- 国連環境計画の青少年向け環境プログラム「TUNZA」。毎年開催される TUNZA 国際青年会議、TUNZA 諮問委員会、TUNZA マガジン、青少年による環境エンパワーメントをサポートする最新の情報や資料を提供する書籍「A Time for Action」。
- 各国の青少年ネットワーク・コーディネーターの存在（環境省、もしくは国レベルの NGO、青少年団体から）。
- 全国に展開する学校及び青少年エコクラブ。
- 地域及び国のフォーラムとディベート・プログラム。
- 青少年を対象とした現行の賞及び表彰プラットフォーム。
- 戦略的アクション-優先事項 5 に関連した、「ASEAN 次世代リーダーシップ・フォーラム（ASEAN future leadership forum）」

潜在的な推進者とパートナー

組織	協力及び協働の可能性
環境省	関連省庁、学校、NGO と連携し、国レベルのネットワークとプログラムを調整する。
東南アジア青少年環境ネットワーク (SEAYEN) –国連環境計画関連	SEAYEN 構築に関する経験基盤を提供し、毎年開催される青少年フォーラムのイベントに関する団体及びイベントの推進をサポートする。
TUNZA–国連環境計画関連	毎年開催する TUNZA 国際青年会議、及び TUNZA 諮問委員会に参加のため、ASEAN 環境青少年ネットワークのメンバーを招致する。
シンガポール環境庁	環境推進者及び青少年環境特使プログラムで得た教訓を共有し、指導を支援する。
ブルネイ、タイの環境省	ASEAN 環境青少年フォーラムの開催に関心を表明している。
国連環境計画	地域レベルにおける国の青少年ネットワークを調整し、毎年開催される青少年環境フォーラムのサポート及び援助を行う。
民間部門、国内及び多国籍企業	青少年リーダーシップ活動、青少年育成活動をサポート及び援助を行う。
ASEAN 大学ネットワーク	ASEAN 大学間における高等教育レベルのネットワークを支援する。

パフォーマンス指標

- 加盟国における持続可能な開発のための環境教育青少年ネットワークの存在。
- 加盟国において毎年開催された、青少年環境ネットワークに関するイベントの数と種類。
- 各加盟国のネットワークに参加した青少年数。
- 青少年ネットワークに参加したメンバーが持つ、環境及び持続可能性に関する知識、態度、信念、実践（KABP）の成果。

成果指数

- 持続可能な開発のための環境教育青少年ネットワークに関する年次報告（加盟国が発行）。
- ASEAN「持続可能な環境のための青少年（youth for sustainable environment）」に関する出版物、ニュースレター、ウェブサイト。

戦略的アクション／優先事項 3

- 4.2.2 ASEAN 持続可能な学校／グリーン・スクール／エコ・スクールのネットワークを設立する。（ASEAN レベルの活動）

この戦略を実行する上で求められる活動

1. ASEAN エコ・スクールを設立する基準や政策を策定するための、地域レベルの技術グループを設置する。
2. 各加盟国における既存の「エコ・スクール」/「持続可能な学校」/「グリーン・

スクール」を特定する。

3. ネットワークをサポートする民間部門のパートナーを特定する。
4. ASEAN「エコ・スクール」/「持続可能な学校」/「グリーン・スクール」をブランド化し、表彰プログラムを設置する（承認書やメダルの授与など）。
5. AEEID、ASEAN 環境教育ニュースレターを介して、ASEAN「エコ・スクール」/「持続可能な学校」/「グリーン・スクール」に関する情報を広める。また、それらのポータルサイトを開設し、相互のコミュニケーションや、経験、アイデアを交流できるようにする。
6. ASEAN「エコ・スクール」/「持続可能な学校」/「グリーン・スクール」のための地域レベルの交流基盤を、今後の ASEAN 環境教育フォーラムに設置する。

推奨される実施メカニズム

- 各加盟国における、ASEAN「エコ・スクール」/「持続可能な学校」/「グリーン・スクール」に関する現行のプログラム及びネットワーク（インドネシア、マレーシア、シンガポール、タイ）。
- 情報の共有と経験の交流の場としての AEEID。
- ASEAN 環境教育ニュースレター。
- ASEAN 環境教育フォーラム。

潜在的な推進者とパートナー

組織	協力及び協働の可能性
環境省	加盟国における ASEAN「エコ・スクール」/「持続可能な

	学校」 / 「グリーン・スクール」のネットワーク、及び地域レベルのネットワークの調整とコミュニケーションを支援する。
シンガポール環境庁	「エコ・スクール」 / 「持続可能な学校」 / 「グリーン・スクール」のガイドラインの作成、及び民間部門とのパートナーシップの促進に協力する。
ブルネイ、インドネシア、マレーシア、タイの環境省	「エコ・スクール」 / 「持続可能な学校」 / 「グリーン・スクール」プログラムに関する経験を共有し、情報提供する。推進国となり地域のネットワークを調整する。
ハンス・サイデル財団	持続可能な学校プログラムに関する情報、専門的意見、経験を共有し、地域のネットワークをサポートする。
日中韓三ヶ国環境大臣会合	地域レベルのネットワーク構築のための技術的支援や情報、経験を提供する。
ユネスコ	ユネスコ協同学校プロジェクトネットワークを介して、「エコ・スクール」 / 「持続可能な学校」 / 「グリーン・スクール」の地域ネットワークに係る情報、経験、資金調達を支援する。

パフォーマンス指標

- 複数の加盟国から成るネットワークに参加している、「エコ・スクール」 / 「持続可能な学校」 / 「グリーン・スクール」の数。
- ネットワークの一環として行われている活動の数（例：経験やアプローチの交流など）。

成果指標

- 地域レベルの「エコ・スクール」 / 「持続可能な学校」 / 「グリーン・スクール」

のネットワークに関するガイドライン。

- ネットワークに関する年次報告。
- 経験とアプローチの交流

戦略的アクション／優先事項 4

4.1.2 地域の環境教育関係者を対象に、情報・教材・体験・ネットワークなどの交流基盤となる ASEAN 環境教育会議／フォーラムを毎年設置する。

この戦略を実行する上で求められる活動

1. 環境教育会議／フォーラムに関わる団体を主導し、主催する推進国の機関、もしくは地域レベルの団体を特定する。
2. ASEAN 環境教育フォーラム（毎年の）設置に係るプロポーザルを作成し、ASEAN 環境高級事務レベル会議がこれを承認する。
3. 加盟国、民間企業より資金を確保する。
4. 加盟国、及び地域レベル・国際的な団体や機関の関係者から構成される会議調整委員会を設置する。
5. ASEAN 持続可能な開発のための環境教育会議／フォーラムを開催する。

推奨される実施メカニズム

- ASEAN 環境教育ネットワーク、及び主導国構想

潜在的な推進者とパートナー

組織	協力及び協働の可能性
加盟国の環境省	国レベルの活動を調整し、環境教育会議／フォーラムをサポートする。また、会議／フォーラムの準備を行い、開催する。
ASEAN 地域内における UNU/IAS の RCE	会議／フォーラムの準備を行い、開催する。
国連環境計画／ユネスコ	ロジのサポートと運営支援を行う。
民間部門の多国籍企業	資金と物資のサポートを行う。
ASEAN 事務局	ロジのサポートと運営支援を行う。

パフォーマンス指標

- 開催された会議／フォーラムの数。
- イベントに参加したパートナーの数と利用可能な資金額。
- イベント毎の参加者数、ワークショップ数、論文数など。
- マスコミの記事や報道数。

成果指標

- 開催された会議と議事録。
- ASEAN 環境高級事務レベル会議へ報告するための会議概要。

戦略的アクション／優先事項 5

- 4.2.3 環境教育と ESD 変革の効果的な実践者・促進者・コミュニケーター・エージェントとなるために、地域における既存の NGO、大学、またメディアのネットワークを構築し、強化する。

この戦略を実行する上で求められる活動

1. NGO・大学・主要メディアと協力して、地域における既存の主要なネットワークを特定する。また、環境教育／ESD を支援、或は従事している専門家及び NGO、または、その可能性がある専門家及び NGO を特定する。
2. 3つのターゲット・グループ全てを対象に、今後の ASEAN リーダーシップ・プログラムと連携する地域ワークショップを行う。
3. AEEID 及び ASEAN 環境教育会議／フォーラムなど、多様なコミュニケーション及び交流チャンネルを介して、ターゲット・グループ間、及びその他ネットワーク間（青少年や持続可能な学校等）のつながりを促進する。
4. ASEAN における、環境教育及び ESD に関する取り組みのレベルや種類についてモニタリングを行い、評価する。
5. 年次の AEEAP 報告枠組みを適用した報告を行う。

推奨される実施メカニズム

- ASEAN 事務局のイニシアティブ。
- 年次のミーティング、会議、ワークショップなど、既存のネットワーク・プログラムの焦点の一つとなる環境教育。

潜在的な推進者とパートナー

組織	協力及び協働の可能性
国連環境計画	ネットワークや情報普及チャンネル（特に、国連環境計画アジア太平洋地域事務所の地域情報担当官を介した形）を通して、地域レベルの NGO、主要な報道機関や個人との連絡調整を支援する。
ASEAN 情報文化委員会	ネットワークや情報普及チャンネルを通して、地域の NGO、主要な地域報道機関や個人との連絡調整を支援する。AEEAP イベントなどに関して、メディアとの調整を行う。
UNU/IAS の RCE	ネットワーク間での AEEAP の推進を支援する。また、団体、機関、リソース・パーソンに関するデータや情報の交流を行う。
ユネスコ	ネットワークや情報普及チャンネルを通して、地域の NGO、主要な地域報道機関や個人との連絡調整を支援する。
主要な NGO MENGO、Kehati、TEI、 Haribon、Third World Network など	各団体の国や地域のネットワークを介して、NGO ネットワーク構築の基盤を提供する
主要メディア AIBD、APFEJ、TVE など	ネットワークや情報普及チャンネルを通して、地域の NGO、主要な地域報道機関や個人との連絡調整を支援する。AEEAP イベントなどに関して、メディアとの調整を行う

パフォーマンス指標

- AEEAP に記載されている加盟国の NGO 数、大学講師もしくは研究員数、メディアの数。
- AEEAP の活動やイベントに参加した NGO 数、教員・研究者数。
- 毎年行われる AEEAP に関するメディアのイベントの数。またその結果として取り上げた記事の数、視聴覚やその他情報普及チャンネル、及びコミュニケーション・チャンネルの数。

成果指標

- 一連のテレビ番組。
- メディアによる出版物。
- ネットワークイベント、及び出版物。